

編集後記

◇『奈良史学』第十一号をお届けいたします。本号には、本学で史学講読（日本史中世）を担当していただいている下坂守先生と、西洋史特殊講義（ラテンアメリカ史）を担当していただいている真鍋周三先生の両非常勤講師から、論稿を寄せていただくことができました。なお、菅野正先生は東洋近現代史担当、鎌田道隆は日本近世史担当の専任教員です。

◇今年、奈良大学創立二十五周年を迎え、全学あげて盛大な記念式が行なわれ、『奈良大学二十五周年史』も発刊されました。史学科は創立以来の学科ですので、史学科も二十五年の歴史を経たこととなります。多くの専任・非常勤の先生方や卒業生たちの研鑽にあらためて感謝する次第です。創立二十五周年を期してというべきでしょうか、奈良大学大学院が開設され、文学研究科では、史学科と文化財学科共同によって、文化財史料学専攻修士課程が誕生しました。第一期生六名もがんばっております。◇編集作業真最中の平成五年十二月初旬、奈良大学山陵学舎の一角は、広葉樹の黄葉がとりわけ美しく、すばらし

い景観が学問的な雰囲気を感じさせているようにも思えます。在学生諸君のなお一層の勉学への取りくみを期待しています。

（鎌田）

奈良史学 第二一号

一九九三年十二月二十一日印刷
一九九三年十二月二十五日発行

奈良市山陵町一五〇〇（〒六三三）
奈良大学文学部内

発行者 奈良大学史学会

会長 青木芳夫
電話（会室）四四一―二五二（代）
振替 大阪 九一三二五九四九番

印刷所 (有) 藝林美術出版社

口座番号変更のお知らせ

郵便振替の新処理システムの導入にともない、奈良大学史学会の口座番号が、平成6年5月から、次のようになります。

平成6年4月まで

旧番号 大阪9―315949

平成6年5月から

新番号 00990―2―315949

NARA JOURNAL OF HISTORY

NARA SHIGAKU

No. 11

1993

CONTENTS

Articles

- Historical Characteristics of *Sanmon-Kunin* (山門公人)
Viewed from the Articles of *Gion-shigyō-nikki*
(祇園執行日記) Mamoru SHIMOSAKA (1)
- Reconstruction of Kyoto: An Essay on the *Toyotomi*
(豊臣) Regime Michitaka KAMATA (21)
- On the Visit to *Fujian* (福建) by the Secretary of Civil
Administration *Shinpei Goto* (後藤新平) in the Spring
of 1900 Tadashi SUGANO (50)
- The Trajectory of Mateo García Pumacahua:
A Study on the Peruvian Society in the Later
Colonial Period Shuzo Manabe (72)

Department's News

Edited and Published

by

THE NARA DAIGAKU SHIGAKUKAI

(The Historical Society of Nara University)

office : 1500 Misasagi, Nara, Japan